

## 温室バラ新品種‘湘南ファンタジー’の育成経過及び特性

|       |   |
|-------|---|
| 誌名    | 神奈川県園芸試験場研究報告 = Bulletin ... of Kanagawa Horticultural Experiment Station |
| ISSN  | 03748731  |
| 著者    | 林, 勇  |
| 巻/号   | 38号   |
| 掲載ページ | p. 37-41  |
| 発行年月  | 1989年12月  |

# 温室バラ新品種 '湘南ファンタジー' の

## 育成経過及び特性

林 勇

Isamu HAYASHI

Breeding process and characteristics of  
'Shonan Fantasy', a new greenhouse rose.

### 緒 言

現在わが国の営利切り花栽培に用いられているバラ品種の大部分は欧米で育成されたものである。毎年多数の新品種が導入されるが、わが国の気候や栽培条件に適さないものも多く、生産者達は栽培に苦勞を重ねてきている。このため、冬切り生産を中心とした神奈川県の子作型や気候条件並びに京浜の大消費圏を考慮した新品種を育成するため、1983年から交雑による育成を開始した。第1年目の1983年には約7,000粒の交雑種子の播種を行なったが、この中の一つ '湘南ファンタジー' が昭和63年12月13日付(1988)で種苗登録されたので、その育成経過と特性について報告する。

本品種の育成は花き科職員一同の協力の元に遂行されたものである。なお、本稿について御校閲下さった京成バラ園芸研究所長の鈴木省三氏に深甚の謝意を表す。

### I 育成経過

1983年3月、神奈川県試のガラス温室で 'ソニア' を母親として、'ゾリナ' の交配を行なった。'ソニア' は、オランダ、日本等における切り花用の主力品種で冬季の生産能力が高く、サーモンピンクの美しい花色、収穫後の観賞段階における開花する花の美しさも優れている。この 'ソニア' の優れた特性にフロリバンダ系品種 'ゾリナ'

の豊産性を付与しようという目的の交配組合せである。

7月29日に14個の結実果を採取し、直ちに解体して合計237粒の種子を得、同日ガーデンパンに播種した。播種箱は灌水後ポリエチレンフィルムで覆い、5℃で2か月間の低温処理を行なった。8月下旬にガラス温室に搬入して発芽生育させた。この中から11月15日に半剣弁で鮮ピンクの1個体を選抜し、'83-1' とラベルをつけた。選抜時の花弁数は13枚であった。

1983年には上記の交配組合せも含めて、切り花用11品種、ガーデンローズ10品種、計21品種(第1表)を用いて各種の組合せによる交配を3月から6月まで行い、合計で約7,000粒の充実種子を得て、播種育成した。第1

第1表 1983年の交配に用いた品種

| 切り花用     | ガーデンローズ     |
|----------|-------------|
| ソニア      | ファラオン       |
| サマンサ     | プレジャス・ブラチナム |
| キャラ・ミア   | アントニア・リッチ   |
| バサディナ    | レディ・ローズ     |
| ゾリナ      | ラブ          |
| レッド・サクセス | ダブル・デライト    |
| バックラ     | コロラマ        |
| ハッピーネス   | チェリッシュ      |
| ロクレア     | エスメラルダ      |
| エンジェリック  | アルテス75      |
| エリダ      |             |

第2表 'ソニア' × 'ゾリナ' の交配実生の花色分離状況 (株数)  
(RHS カラーチャートによる)

|       |      |      |      |      |      |      |      |
|-------|------|------|------|------|------|------|------|
| 花 色   | 31-B | 31-C | 33-A | 33-B | 34-B | 35-B | 36-D |
| 個 体 数 | 1    | 1    | 3    | 1    | 1    | 2    | 1    |
| 花 色   | 37-B | 38-A | 38-B | 38-C | 39-A | 39-B | 39-C |
| 個 体 数 | 1    | 4    | 3    | 1    | 1    | 2    | 1    |
| 花 色   | 39-D | 40-A | 40-B | 40-C | 40-D | 41-A | 41-B |
| 個 体 数 | 1    | 2    | 4    | 3    | 2    | 2    | 5    |
| 花 色   | 41-C | 41-D | 43-A | 43-B | 43-C | 43-D | 44-D |
| 個 体 数 | 7    | 1    | 1    | 1    | 8    | 2    | 1    |
| 花 色   | 48-B | 48-C | 48-D | 49-A | その他  |      |      |
| 個 体 数 | 3    | 1    | 1    | 1    | 2    |      |      |

第3表 'ゾリナ' × 'ソニア' の交配実生の花色分離状況 (株数) (RHS カラーチャートによる)

|       |      |      |      |      |
|-------|------|------|------|------|
| 花 色   | 36-A | 41-C | 43-C | 43-D |
| 個 体 数 | 1    | 1    | 1    | 1    |

次選抜においては '83-1' も含めて126個体を選抜したが、最終的に残ったのは '83-1' だけであった。

'ソニア' (サーモンピンク) × 'ゾリナ' (オレンジ) の交配実生について70個体の花色発現状況を RHS カラーチャートを用いて調査した結果は第2表のようで、両親に近似した花色並びに両者の中間の花色のものが極めて多く、赤色系はまったく出現しなかった。逆交配 ('ゾリナ' × 'ソニア') は調査数が少ないが、同様の花色分離であった (第3表)。

'83-1' は11月15日の選抜後、6号鉢に移植、さらにその後はスレートベンチに移植して、花の形質を中心にして数回の開花を観察した。この結果、新品種として期待されるものと評価し第二次選抜を通過させた。

1984年5月29日に '83-1' からとれる限りの穂木を採取し、ノイバラを台木としてミスト温室を用いて緑枝切り接ぎを行い、19株に増殖した。このうちの12株を、8月

3日にバラ温室内に定植し母親品種の 'ソニア' と対比して、生産能力や切り花形質の検定を行なった。その後、1986年まで3回にわたって主として 'ソニア' を対照として、加温冬切りの作型で、品種としての新規性、安定性並びに生産能力、花持ち等を検定した。

以上の検定結果から、花色、茎葉等で明らかに新規性、区別性があり、かつ冬切り用品種として 'ソニア' より豊産性であることが確認され、栄養繁殖によって形質は安定的に移行することも確認され育成を完了した。

1987年3月、長洲神奈川県知事によって、'湘南ファンタジー' と命名され、種苗法による登録のための出願を行なった。昭和63年(1988)8月8日付で内定公表され、12月13日に正式に登録された (登録番号第1845号)。

## II 品種特性

### 1. 花色、花型、花の大きさ

花色は鮮ピンク (日本園芸植物標準色票 (JHS) 0104) であり、'ソニア' の黄ピンク (JHS 0704) と明らかな区別性がある。半剣弁高芯咲きの美しい花型である。冬切り生産での収穫開始当初の秋季 (9月頃) においても、花型は乱れない (第4表)。

第4表 種苗特性調査基準に基づく品種の特性 (抜すい)

| 品 種                | 花 色            |             | 葉 色 |     | 葉の光沢 |     |
|--------------------|----------------|-------------|-----|-----|------|-----|
|                    | 表              | 裏           | 若 葉 | 成熟葉 | 若 葉  | 成熟葉 |
| 湘南ファンタジー           | JHS 0104(鮮ピンク) | 0104(鮮ピンク)  | 青 銅 | 濃 緑 | 光 沢  | 光 沢 |
| ソ ニ ア <sup>z</sup> | JHS 0704(黄ピンク) | 0411(ピ ン ク) | 青 銅 | 淡 緑 | 半光沢  | 半光沢 |

<sup>z</sup> 対照品種、湘南ファンタジーの交配親

花の直径は9.8-12.0cmで‘ソニア’よりやや小さい。

2. 花卉数並びに花持ち

花卉数は春季（5月）で約34枚、冬季（1月）で約42枚で、‘ソニア’よりも4～8枚多い。

花持ち日数は‘ソニア’とほぼ同程度。‘ソニア’の優れた特性である開花してゆく花型の変化の美しさを受け継いでいる（第5、6表）。

第5表 ‘湘南ファンタジー’と‘ソニア’の切り花形質比較（1986. 5. 2）

| 品 種      | 切り花<br>茎長 | 葉数   | 茎葉<br>重 | 花重   | 花卉<br>数 |
|----------|-----------|------|---------|------|---------|
| 湘南ファンタジー | 56cm      | 8.9枚 | 23.2g   | 8.2g | 34.4枚   |
| ソニア      | 56        | 10.4 | 30.0    | 10.4 | 30.6    |

第6表 冬期の花持ち日数z（1987. 1. 5）

| 品 種      | 切り花<br>茎長 | 花卉数   | 花持ち<br>日数 |
|----------|-----------|-------|-----------|
| 湘南ファンタジー | 54.8cm    | 42.4枚 | 11.6日     |
| ソニア      | 56.0      | 34.0  | 13.0      |

z 無暖房実験室内、水替え1回実施

3. 茎並びに葉

切り花の茎は直立性で曲がりにくく、栽培管理がしやすい。特別な誘引操作はまず必要としない。切り花茎長は‘ソニア’よりやや短くポリウムもやや小さい。

葉色は‘ソニア’の淡緑に対し濃緑であり、強い光沢が

あって美しい。

花首部分の刺毛は‘ソニア’よりも大きく数も多いので、切り花の取り扱いには丁寧に行なう必要がある。トゲは全体に‘ソニア’よりも大きく数も多い。

4. 生産能力

第7、8表に‘ソニア’と対比して2回におたつて行なった生産能力検定のデータを示したが、冬切り栽培の作型で‘ソニア’よりも14～26%多収であった。

5. 採花方法の違いと切り花収量及び切り花茎長

‘湘南ファンタジー’は1茎への花着きも多いのでスプレー咲きバラとしての利用の可能性を検定するため、1花茎1輪咲きとする慣行的な採花法と、頂蕾を摘除してスプレー咲きとする採花法を比較した。なおスプレー咲き採花区においても、花茎の貧弱なものは1輪咲きで採花した。その結果、スプレー咲き切り花として収穫出来たのは40%のみであり、9月から6月までの全期間の平均着蕾数は3.2個であったが、冬季の着蕾数は2輪程度のもが多く、また、到花日数が長くなるために、株当たりの切り花本数も1茎1輪採花より少なくなった。このため、本品種はスプレー咲きとしての利用には向かないと判断した（第9表）。

6. ロックウール耕における苗の繁殖方法の違いと生産能力

‘湘南ファンタジー’の樹勢が旺盛であることを利用して、ロックウール耕においてさし木苗の利用が可能かどうかについて検定した。

第7表 第1回生産能力検定（1984. 8. 3定植，各12株）  
[1984. 10. 19～’85. 6. 19収穫]

| 品 種  | 切り花本数           |       |                  | 切り花茎長の分布 |       |       |       |       |
|------|-----------------|-------|------------------|----------|-------|-------|-------|-------|
|      | 総数 <sup>z</sup> | 株当たり  | 百分比 <sup>y</sup> | 40cm以下   | 41～50 | 51～60 | 61～70 | 71以上: |
| 83-1 | 183本            | 15.3本 | 126              | 12.6%    | 38.8  | 30.6  | 16.4  | 1.6   |
| ソニア  | 145             | 12.1  | 100              | 14.5     | 37.9  | 33.1  | 11.7  | 2.8   |

z 定植時期がおそいめ、収量は多くない y ソニア対比

第8表 第3回生産能力検定（1985. 5月定植，’85.9.25 - ’86.5.31収穫）

| 品 種 <sup>z</sup> | 切り花本数 |                  | 切り花茎長の分布 (%) |         |         |         |         |
|------------------|-------|------------------|--------------|---------|---------|---------|---------|
|                  | 株当たり  | 百分比 <sup>y</sup> | 40cm以下       | 41～50cm | 51～60cm | 61～70cm | 71cm以上: |
| 83-1             | 25.6本 | 114              | 30.9         | 44.0    | 28.3    | 6.8     |         |
| ソニア              | 22.5  | 100              | 15.1         | 36.9    | 35.6    | 11.1    | 1.3     |

z 83-1 ……12株，ソニア ……10株，y ソニア対比

第9表 '湘南ファンタジー'の採花方法の違いと切り花収量及び切り花茎長  
[1986.4.17 定植, '86.9.1-'87.6.15 収穫]

| 採花方法                | 株数  | 総切り<br>花本数 | 株当<br>り切り<br>花本数 | 切り花茎長の分布(%) |         |         |        |
|---------------------|-----|------------|------------------|-------------|---------|---------|--------|
|                     |     |            |                  | 50cm以下      | 51~60cm | 61~70cm | 71cm以上 |
| 慣行単花採花 <sup>z</sup> | 64株 | 2,078本     | 32.5本            | 30.4        | 34.3    | 28.8    | 6.5    |
| 混合採花 <sup>y</sup>   | 32  | 940        | 29.4             | 25.7        | 31.7    | 26.6    | 16.0   |

<sup>z</sup> 1花茎1輪咲きで収穫(慣行的な採花法)

<sup>y</sup> スプレー咲き(1茎に数輪)が可能なものは頂蕾を摘除してスプレーの切花とする。スプレー咲き切り花の平均輪数3.2個

第10表 ロックウール耕における'湘南ファンタジー'の苗の素質(繁殖法)と生産能力, 切り花品質  
[1988.4.22 接ぎ木, さし木 5.30 定植, 1区24株]

| 苗の素質 | 時期別切り花本数 |        |       |      | 合計<br>切り花 <sup>z</sup><br>本数 | 平均<br>切り花<br>茎長 | 平均<br>切り花<br>重 |
|------|----------|--------|-------|------|------------------------------|-----------------|----------------|
|      | 8~9月     | 10~11月 | 12~1月 | 2~3月 |                              |                 |                |
| 接ぎ木苗 | 121本     | 188    | 130   | 114  | 553本                         | 44.7cm          | 19.8g          |
| さし木苗 | 79       | 151    | 131   | 87   | 448                          | 44.8            | 21.2           |

<sup>z</sup> 1989.3.10 までで1年目の収穫打ちり

1988年4月22日にノイバラ台木で緑枝切り接ぎを行い, 10×10×10cmのロックウールキューブに苗をはさみこんでミスト下で苗作りをした接ぎ木苗と, 同じ日に5×5×5cmのロックウールキューブにさし木してミスト下で苗作りをしたさし木苗とを, 5月30日にロックウールマットに定植して, 8月中旬から収穫を開始し1989年3月まで収量, 品質の調査を行なった。

さし木苗では初期収量が接ぎ木苗より劣り, 合計収量も接ぎ木苗より少ない傾向があったが, 統計的には有意差がなかった。10cm角キューブに対して5cm角キューブは容積が8分の1であり, このことも初期生育に影響したと考えられる。切り花品質については差が見られないので, キューブの大きさ, 育苗期間等に配慮すれば, ロックウール耕において'湘南ファンタジー'のさし木苗利

用も可能性があると考えられる。

以上のようなことから'湘南ファンタジー'は加温冬切りの作型に適する品種であり, 直立性のステム, 中輪で柔らかい花色のため, テーブルデコレーション, ブーケ, コーサージ等のフラワーアレンジメントに適した品種と考えられる。

### III 命名の由来

神奈川県は永い間, 日本一の温室バラ産地として歩んできたが, 県下でも特に湘南地方に生産農家が集中している。このため, '湘南のバラ'と呼ばれることも多い。このような背景から, 神奈川生まれのこの新品種は, 長洲知事によって'湘南ファンタジー'と命名された。

### Summary

‘Shonan Fantasy’, a new greenhouse rose, was officially registered according to the Japanese Seeds and Seedlings Law on December 13, 1988. This medium-sized pink cultivar was created by the cross hybridization of ‘Sonia’ x ‘Zorina’ at the Kanagawa Horticultural Experiment Station.

Crossing and first selection were undertaken in 1983. Since then scathing checks of novelty of flower and foliage and practical greenhouse growing tests for productivity and flower qualities of special concern in winter time, were undertaken.

Finally this new cultivar was named ‘Shonan Fantasy’ in March 1987 by Governor Dr. Nagasu of Kanagawa Prefectural Government. Kanagawa is one of the main production area for roses in Japan and ‘Shonan’ is the genuine name of Kanagawa

Prefectural pacific ocean side resort. So ‘Shonan Fantasy’ means this new comer is a true Kanagawa original.

Characteristics of ‘Shonan Fantasy’ were summarized as follows.

1. Medium-sized clear pink (JHS Colour Chart 0104), 10–12cm in diameter.
2. 35–40 petal number, a little more than ‘Sonia’. Similar vase life as ‘Sonia’. Flower shape is changing elegantly in the vase like as ‘Sonia’.
3. Straight, strong stem with dark green blight leaves, bit hard thorn. Very vigorous growth.
4. 15–20% more production compared with ‘Sonia’, typical cultivar for winter production.
5. Own roots plant could be utilized efficiently in rockwool culture.